

「成人発達理論から紐解く子育ての秘訣」

おやこ育て

作・絵 高山まり

引用 加藤洋平



【参考文献】加藤洋平（2016）
なぜ部下とうまくいかないのか
日本能率協会マネジメントセンター

かひ
けと
ては、
いる
か、
自分
がど
んな
なレ
ンズ
を



いま一歳のムスコが、
もう少し大きくなって、

ねえ、成長するっ
てどういう事？



ヒトはどうやって
大人になるの？

と、
いつか聞いてきたら、

こんな風に伝えてみよう
かな、と思ってイラスト
にしてみました。

いい質問ですね！
それはね・・・



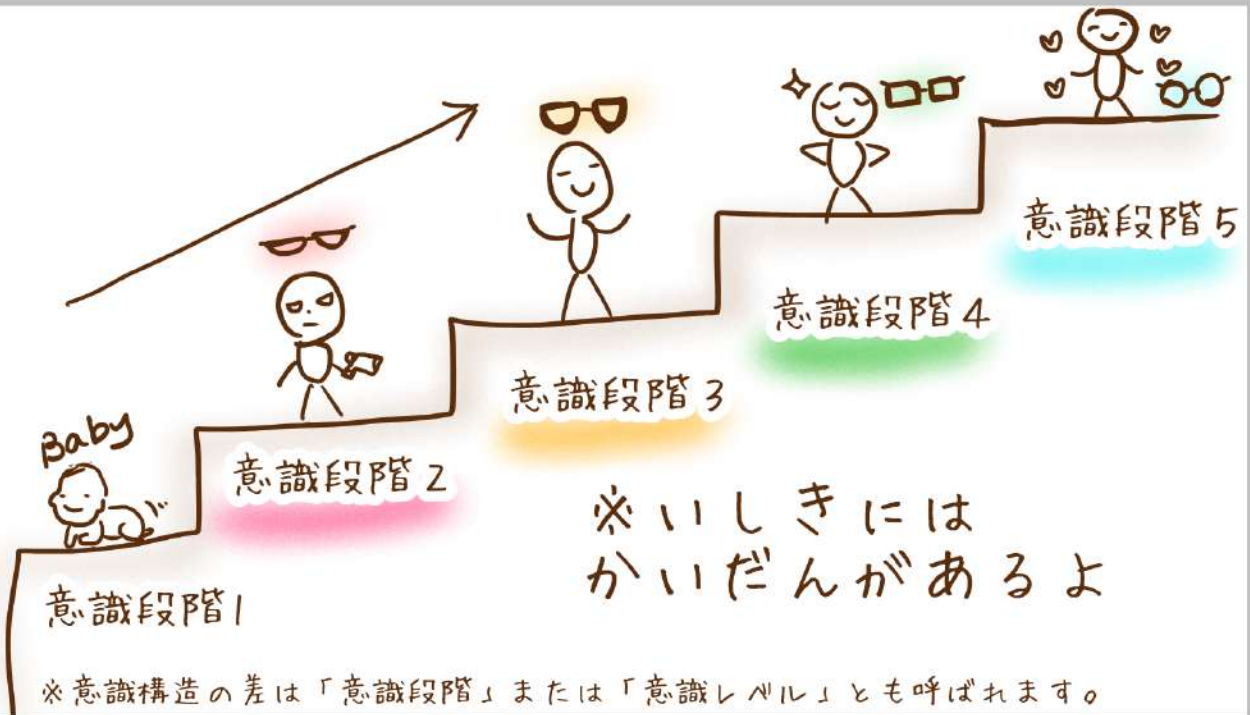
このレンズは「意識構造」の
呼ばれその人によって、質の
面で差や違いがあります。

※意識とは
「ニニニ」のことだよ。



ひとはそれぞれ固有の
レンズで物事を見ています。
※メガネは目ではみえないよ

意識の段階が
高くなるほど、
物事を広く・深く捉える事が
できます。



「意識構造」は「器」にも例えられ、器にも質的な差異があります。

俺さえ損しなけばいい。みんな俺のいう事聞け！



みんなの意見を聞いて解決しよう！



「器」の色や形が違ふという事は、たとえばその人の個性、性格、物事の進め方の多様性などです。

意識が成長する事で、人としての「器」の容量が大きくなります。

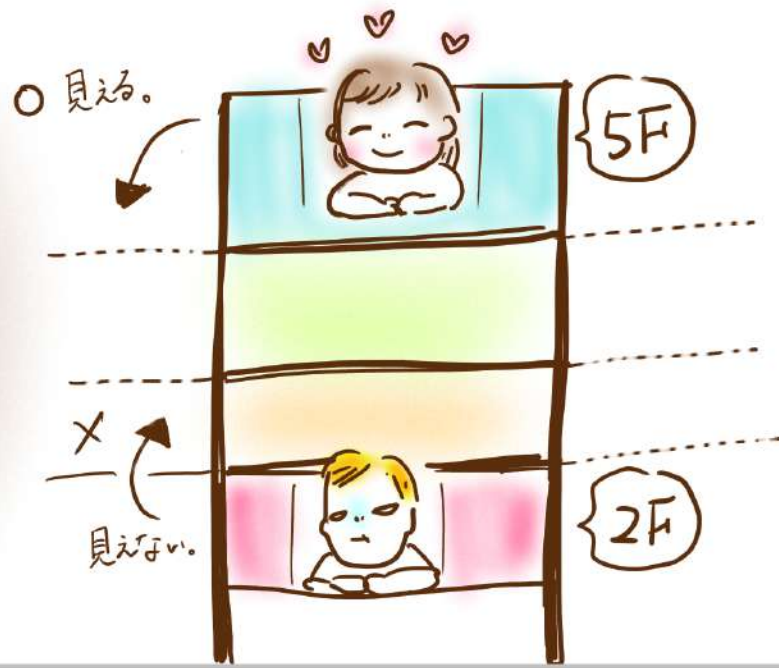
あのひとは人間としての器が大きいとか言うよね。



「器」が大きくなると、私たちは多様な知識や経験をそこに蓄える事ができるようになります。



「私」たちは、自分よりも上の意識段階を理解する事ができない」と言われています。



たとえば、建物の2階から見える景色と5階から見える景色とは、それぞれ全く違うのと同じです。

「私」たちは、「レンズ」(意識の段階)に依り、世界の見え方が異なり、知識や経験の取り入れ方も違えば、



各人固有の「器」によって、加工されたアウトプットも質的に異なります。

とても大切な事は、

ボク、カラダも
ココロも大きく
なるのよ



私たちの意識は、
一生涯におたって、
成長・発展していく
という事です。

もう身長は伸び切ったけど、
こころ・意識はドンドン成長するよ！



そして重要な事は、

そんなの正解分らないし、
特に自分の意見とか無いです。
みんなと一緒にいいです。

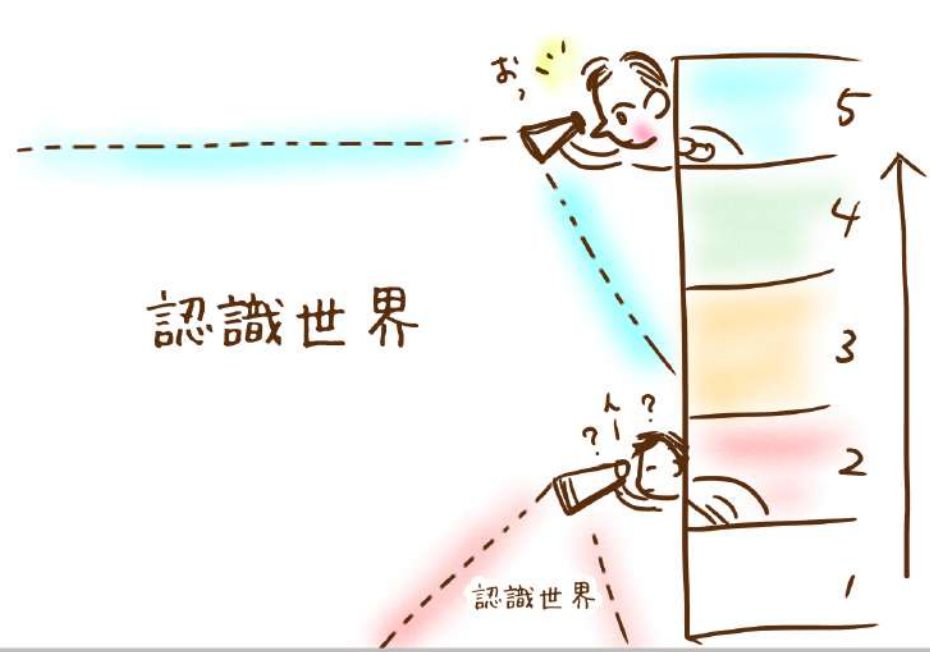


意識の成長・発展は一概に
年齢によって決定されるお
けではないという事です。

この世界と
みんなの幸せのために
いまいぶん何ができるか
考えてみたの



これまで捉える事ができな
 かったものが見えてくるよ
 うになります。



意識の成長・発達が進むと、
 認識世界が広がっていき、

客体 (認識対象)



あー、そうそう。
 過去の自分はあんな風に
 考えて苦しくて辛くて、
 孤独だったな。



主体 (認識主体)

私たちは
 ある意識段階から次の意識
 段階に成長して初めて、過
 去にどんなレンズをかけて
 いたかわかるのです。

※人間の意識の成長・発達は、主体から客体へ
 移行する連続的なプロセス。

つまり、私たちは
いぶんがっいままどんなレ
ンズをかけているか分から
ないのです。

自分が何に囚われているか
まだよく見えない。



そのステージを乗り越え
て、振り返ると見える。



今は見えないけ
ど、必ずより良い
高い視座がある。



でも常に上位の意識段階は、
まだ見えていないだけで
必ず存在しているのです。

なので、大切なことは、
常に謙虚な姿勢でいること。

自分には知らない世界・
価値観がたくさんある。

怖がらず、否定せず、
あらゆる事から謙虚に学ぼう。



何か悲しいこと、
腹がたつ事に会ったら、
それは成長のチャンス。



どうしていぶんはそう感じるん
だろう？と、エゴと向き合い、
内省を繰り返すこと。

本当は何が嫌だった
んだらう？



すると新たな視点を得て、
新しいいぶんを創造できます。

・・・というわけですが。
ひとは、こういうプロセス
を繰り返すの。

大人になっても、
死ぬまでずっと成長し
続けるのよ。

ふむふむ。



なるほどね。

一生続く学びが、
その人の人生になる
んだよ。

で、

お母さんは、いつ

大人に成長するの？



ごちや

いたっ!!



おしまい☆

最後まで読んで下さり
本当にありがとうございます！

絵本はここで終わりますが、
最後に成人発達理論における各発達段階
の特徴をまとめた図表を載せておきます
のでご参考までに。

高山まり

加藤洋平
センセイ



★成人発達理論における意識段階について

【発達段階①】

特徴・自分と他者を真っ二つに分ける。自分だけ大切。



課題点・自己中。自分黒の世界。相手の立場に立って考えることが苦手。感情と同一化しやすい。



【発達段階②】

みんなと一緒に安心



特徴・権威主義。会社や組織の価値観に従順。自分の意見・考えを表明しない。課題点・受け身で鵜呑みにする。新たな情報を組み合わせる新しいものが生み出せない。

☆日本人に多いタイプ

【発達段階③】

勉強家・知識欲すこい



特徴・自己主導段階。自律的。他者の価値観に敬意を示すが、自分に焦点を当てがち。課題点・自分の価値体系に縛られてしまう。



【発達段階④】

開放感・柔軟性



特徴・自己変容段階。自分は絶え間ない変化の中で生きており、自らも絶えず変化する。他者と共存しながら、お互いに成長・発達を促す触媒になる。